

第4回粕屋町まち・ひと・しごと創生推進会議要録

日時：12月23日（月）14:00～15:30

場所：粕屋町役場3階31会議室

<p>次 第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 粕屋町人口ビジョン（案）及び 第2期粕屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の諮問について 3. 町長あいさつ 4. 会長あいさつ 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> （1）住民アンケート等の結果（最終）について （2）第2期総合戦略（案）について 6. 事務連絡 パブリックコメントの実施期間 令和元年12月25日（水）～令和2年1月23日（木）まで 第5回粕屋町まち・ひと・しごと創生会議 令和元年1月30日（木）午後2時～ 粕屋町役場3階A委員会室（予定） 7. 閉会
<p>会議要録</p>	
<p>3. 町長あいさつ</p>	<p>○第2期総合戦略は、これまでの人口の急減、少子高齢化という我が国の直面している大きな課題の克服だけでなく、持続可能な社会づくり、いわゆるSDGsの考え方を取り入れた本町で最初の計画となる。しかしながら、先日、実施したアンケート調査ではSDGsという言葉はご存知ですかという問に対して、約7割の町民の方が「まったく知らない」と回答している。行政が取り組むべきSDGsの課題はとて多量と思っている。男女の差別の問題や貧困の問題、特に多様性の問題は行政が直面している大きな課題といえる。町としては、行政だけでなく町民や民間事業者といった様々なステークホルダーが一体となって、これから先SDGs実践のための気運を高めていきたいと思っている。活発に議論して頂き、行政と町民がもにつくる総合戦略となるようお願いしたい。</p>
<p>4. 会長あいさつ</p>	<p>○本日の協議事項は、住民アンケートの最終結果についてと第2次総合戦略案についての協議となる。限られた時間であるがしっかり議論していきたいのでご協力を宜しく願いたい。</p>
	<p>（前回会議での宿題となった事項について事務局より報告） 【福岡市の子どもの医療費が粕屋町より良いという質問について】 ○子どもの医療費については、粕屋町と近隣町と比較すると、郡中南部地域の町では変わらない条件で支給されている。福岡市と比べて、入院に関して3歳未満は自己負担なしで粕屋町と同じだが、3歳から中学生まで入院費に関して福岡市では無料、粕屋町では1日500円で月7日が限度額となっており違いがある。また、通院については、3歳未満は同じ条件で無償と</p>

	<p>なっているが、3歳から小学生までは、福岡市は月600円が上限、粕屋町は月800円が上限と違いがある。</p>
<p>5. 協議事項 (1) 住民アンケートの結果（速報）</p>	<p>(事務局より協議事項(1)の資料説明後、意見交換)</p> <p>■住民アンケート調査結果について (質疑なし)</p> <p>■企業アンケート調査結果について (質疑)</p> <p>【会長】</p> <p>○企業アンケートの結果をみると、「人材育成・人材確保」が町に求められているということか。 →(事務局)課題としてしていると回答する企業が多いということである。</p> <p>【会長】</p> <p>○23ページで「働き方改革に取り組んでいますか」という問で「取り組んでいる」という回答が全体で7割程度だが、「取り組む予定がない」という企業も2割弱あるので、こうした企業がもう少し働きかけてもらえると人材確保もスムーズにいくのではないかと思った。なぜ2割程度の企業が「取り組む予定がない」としたのかわかるようであれば教えてもらいたい。 →(事務局)具体的な取り組んでいない理由についての設問を設定していなかったため詳細はわからないが、回答している企業の中で少人数の企業も多く、大規模な企業については積極的に取り組んでいるという回答であった一方、1～2人程度の企業については抱えている従業員がいないというケースもあり、それらの企業は取り組む予定がないと回答している傾向がある。</p> <p>【委員】</p> <p>○労働力の確保が課題となっている一方、若者が就職・転職で離れている。こうした若者がなぜ町内の企業に就職しないのか、マッチングが悪いのか、宣伝していないのか、理由がわかれば取り組みにもつながるかと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○粕屋町には、個人を含め1600を超える事業者がある。地元の人たちに情報発信ができていないのかという意見であったが、企業からの情報発信等の努力不足もある一方で、商工会としても十分にPRできていないということもあると思う。ここ数年M&Aが増えてきており、事業承継ができていないことと、大きな会社が地域の企業をまとめて買収してしまうということが多く行われている。そうした中で、須恵町は「SUENOBA」という会社をつくって外国人労働者の受け入れていると聞いたが、外国人労働者の方ができる範囲の仕事が地元であれば、行政がつなぐ役割として入ってくることがあっても良いのかと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○銀行の委員に質問だが、久原本家のような小さな町の企業だったものが全国に有名な企業になるものがある。そこには商工会、銀行などのバックアップがあったのかと思う。久原本家のように、粕屋町の特徴ある企業をバックアップしていくような取組みがあるのか。</p> <p>【委員】</p> <p>○現状は融資などの側面サポートしていく程度である。これからは銀行としても地域に選ばれる銀行として、地元企業のためにできることは何かを考えていかなければいけないと思っている。我々</p>

	<p>のフィナンシャルグループとして、長崎、熊本などで物産展など展開しているが、これまで粕屋町はできていない。今後は特産品の販売など取り組んでいけたら良いと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○アンケートでは、粕屋町の魅力は駅が6つと博多に近いという利便性だけがあがっている、自然は駕与丁公園となっており自然は大事だが、それだけでは人は集められない。先ほどのフィナンシャルグループの連携した特産品の販売など取り組みを、粕屋町を会場にして展開してもらえるといい。利便性が高いたけではなく、タイアップして人集めしていかなければいけないと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○粕屋町の社長は若い人が多く、新しい事業のスタートアップの支援に力を入れている。こうした取り組みを通じて支援をしていきたい。弊社の原町支店の2階が空いており、地域に役立つ方向で活用していけたらと思っている。</p>
<p>(2) 第2期総合戦略(案)について</p>	<p>(事務局より協議事項(2)の資料説明後、意見交換)</p> <p>(質疑)</p> <p>【会長】</p> <p>○KPIはどのようなものか、もう一度補足してほしい。</p> <p>→(事務局) KPIとは重要業績指標と言われるもので、各施策の事業の取り組んだ実績ではなく、取り組みによって得られた成果を指標にするのが基本である。</p> <p>【会長】</p> <p>○地域コーディネーターについての説明があったが、今は地域コーディネーターは町内にはいらっしやらないということか。増やしていくための具体的な方策はあるのか</p> <p>→(事務局) 地域コーディネーターについては、県が町からの推薦に基づき認定するもので、各学校と地域をつなぐ役割をもち、教職を経験した方や地域に深く根付いた方などを人選する。粕屋町は今のところいないが、担当課としては各学校区に1名程度を目標にしている。</p> <p>【委員】</p> <p>○町ブランド特産品のふるさと納税の返礼品は今はやっているのか。</p> <p>→(事務局) 町のブランド特産品はまだできていないので実施していない。ふるさと納税では前年度決算で8千万ほどあがっている。国のふるさと納税の返礼品の規制もあり、今年度は目減りしているが、町内の色々な商品を出品して頂いており、年々数を増やしている。</p> <p>【委員】</p> <p>○ブランド化と発信を進めていくと書いているが、具体的にはどのような内容を進めていくのかは入っていない。この目標数値をめざすために具体的にこのように進めるという内容についてはこの推進会議で協議していくものなのか。</p> <p>→(事務局) 今回はKPIの数値は示していないが、次回以降に数値を示し協議いただきたいと思っている。</p> <p>【委員】</p> <p>○その数値を出す時は、数値を目指すための具体的な項目はでてくるのか。</p> <p>→(事務局) 計画書としてはこのレベルになる。施策によってはもう少し詳しく書いた方が良いということであれば加筆していきたい。</p>

【委員】

○この施策は総合計画と絡んでいくのか。総合計画では具体的な取組みが示されていると思うが、その内容と総合戦略の施策がリンクしているのか。

→基本的には総合計画と連動している計画である。総合計画は後期基本計画を策定しているところだが、後期基本計画の事業として入ってくると思う。

【委員】

○17 ページにまちづくり活動支援室を中心にボランティア活動を進めるという内容があるが、まちづくり活動支援室をやっているのは役場の職員なのか。常駐しているのか。

→（事務局） そうである。

【委員】

○まちづくり活動支援室の相談件数というのはどのくらいあるのか。

→（事務局） 次回、実績値を含め数字をお示するが、あまり多くはないと聞いている。

【委員】

○多くないというのがネックだから、多くならないといけないということだと思うが、その多くするために具体的にどうするのかということは、次回の会議に出してくるということか。

→（事務局） 目標値については現在、協議中であり、次回お示していく。

【委員】

○まちづくり活動支援室については、町民はよく分からないのではないと思う。わからないものを KPI にしても難しいのかと思う。まず周知徹底するというのが必要なのかと思う。

【会長】

○例えばまちづくり活動支援室の相談件数がこれまで 10 件だったのを 50 件に増やしますという目標を立てた時に、その KPI を増やすためにどういう方策をするのかということをごとまで計画に反映するのかという指摘だったと思う。

→（事務局） KPI の説明書きとして反映するという理解でよいか。

【会長】

○具体的な方策が書かれていないままで大丈夫かという意見かと思う。

→（事務局） あまり計画書に書きすぎると指標ごとに説明項目が増えるのでどうかと思っている。指標を設定する際にどういった根拠で数値を出しているのかを別添で作成するので、そちらで次回、資料を提出させていただきたいと思う。